

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

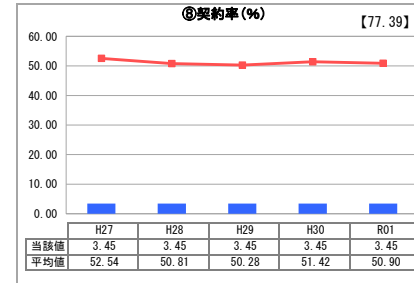
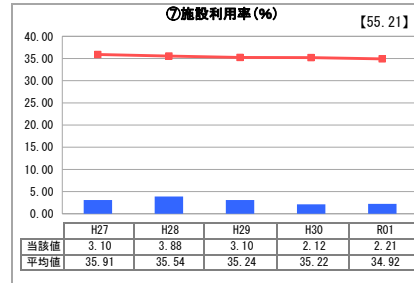
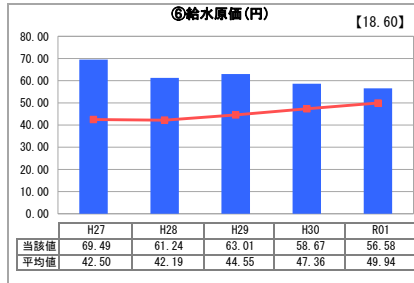
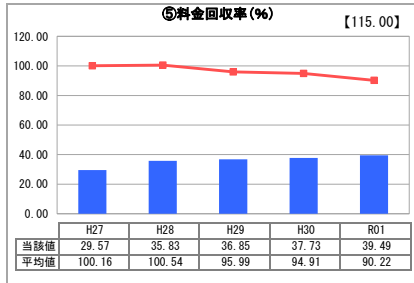
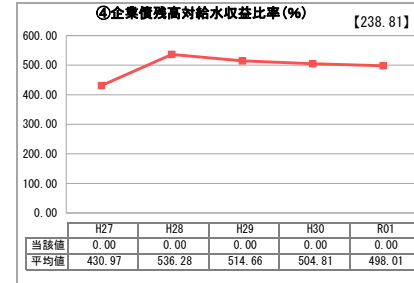
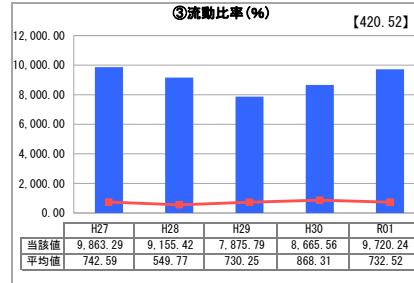
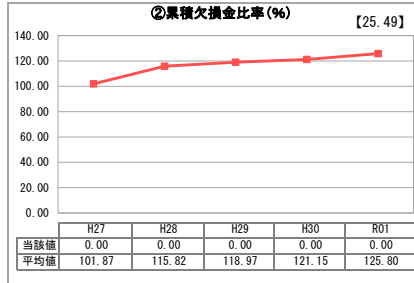
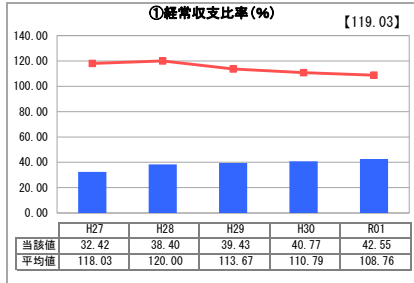
鳥取県 鳥取市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	5,800	極小規模	1	128
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	99.9	1	200	自治体職員	

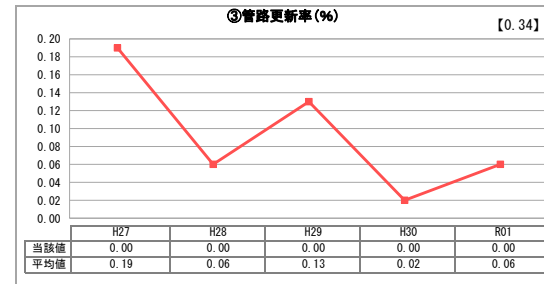
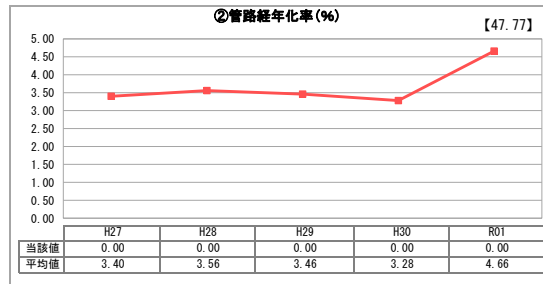
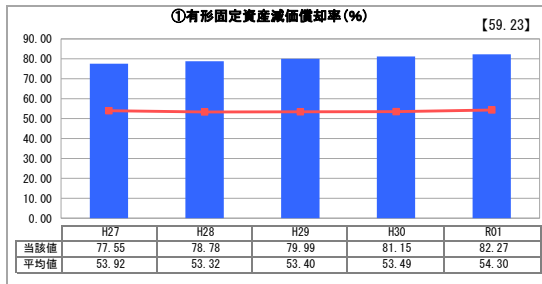
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成25年10月以降、給水先事業所数が1社となり、施設能力5,800m³/日に対して、契約水量は200m³/日にとどまっている。
また、給水収益の減少に伴い、経常収支比率及び料金回収率は40%前後を推移しており、非常に厳しい経営状況である。

2. 老朽化の状況について

施設の更新等の必要性が高いと考えられる。しかしながら、更新のための財源確保が困難なため、定期点検を重視の上、修繕などを行うことで長寿命化に努めている。

全体総括

今後の水需要予測、料金収入や施設の見直しなどを検討した結果、将来にわたって事業を継続することは困難であるため、10年後の令和12年度をもって事業を廃止し、令和13年度以降の水道の供給については、水道事業へ移行する方針である。